

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 特 許 公 報 (B2)

(11) 特許番号

特許第4339417号

(P4339417)

(45) 発行日 平成21年10月7日 (2009. 10. 7)

(24) 登録日 平成21年7月10日 (2009. 7. 10)

(51) Int. Cl. F I
HO 4 N 5/7826 (2006. 01) HO 4 N 5/782 Z
HO 4 N 5/93 (2006. 01) HO 4 N 5/93 E

請求項の数 1 (全 7 頁)

(21) 出願番号	特願平8-313242	(73) 特許権者	000002185
(22) 出願日	平成8年11月25日 (1996. 11. 25)		ソニー株式会社
(65) 公開番号	特開平10-155131		東京都港区港南1丁目7番1号
(43) 公開日	平成10年6月9日 (1998. 6. 9)	(74) 代理人	100082131
審査請求日	平成15年2月26日 (2003. 2. 26)		弁理士 稲本 義雄
審判番号	不服2006-14360 (P2006-14360/J1)	(74) 代理人	100121131
審判請求日	平成18年7月6日 (2006. 7. 6)		弁理士 西川 孝
		(74) 代理人	100062834
			弁理士 高橋 光男
		(72) 発明者	近藤 哲二郎
			東京都品川区北品川6丁目7番35号ソニ
			ー株式会社内
		(72) 発明者	野出 泰史
			東京都品川区北品川6丁目7番35号ソニ
			ー株式会社内

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 録画予約システム

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

インターネットのような汎用の通信ネットワーク、
 前記通信ネットワークに接続された放送番組関連情報のデータを保有するサーバー、
 前記通信ネットワークに接続された複数の通信端末、
 前記複数の通信端末の一に接続されたビデオテープレコーダを有し、
 前記複数の通信端末のビデオテープレコーダに接続されていない通信端末により、電子メ
 ールフォーマットを使用し前記放送番組関連情報のデータを保有するサーバーから放送番
 組関連情報を取得し、
 前記通信端末の一に接続されたビデオテープレコーダに、前記ビデオテープレコーダに接
 続されていない通信端末からの録画予約情報を入力するようにした録画予約システム。

10

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明はインターネット等の複数の通信端末を接続して構成された汎用のネットワーク
 を使用して、放送番組関連情報の提供などのサービスの提供を行うためのネットワークサ
 ービスシステムに関する。

【0002】

本発明のネットワークサービスシステムは放送番組関連情報の提供などのサービスを行
 うサーバーと通信端末間においてサーバーから通信端末への接続処理を行うことによりビ

20

デオの番組録画予約などのサービスを提供するものである。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

従来、テレビの放送番組をビデオテープに予約録画しようとする場合には、通常は放送番組の記載された雑誌や新聞を購入して、これを基に録画したい番組のチャンネル番号、放送開始時間、放送終了時間又は録画終了時間や録画時間等の番組予約に必要な事項をそれぞれ設定することが必要である。

【0004】

このため、テレビの放送番組をビデオテープに予約録画は

1. ビデオ録画予約のために雑誌や新聞を購入しなければならない。
 2. ビデオテープレコーダの録画予約の設定を行うのが難しい。特に高齢者や機械の扱いが不得意な人には困難な作業である。
 3. 放送に特別番組等が入り予約した番組の時間が変更になった場合にはあらかじめ設定しておいた録画時間の変更が出来ない。
 4. 職場など離れた場所からの録画予約が出来ない
- といった問題点があった。

【0005】

【従来の技術】

従来このような問題を解決する目的の各種の提案がなされている。例えば、特開昭62-172891号公報には、CATV等の同軸ケーブルを使用した有線放送システムに於いて、同軸ケーブルの広帯域伝送特性を利用してテレビ放送番組の提供だけでなく受信機と放送装置との間に双方向の機能を持たせ番組のリクエスト等のサービスの行えるシステムが提案されている。

【0006】

しかしながらこのようなシステムではこれを利用出来るのはCATV等の加入者に限られ、又これに使用される受信装置も双方向の通信機能を持った特殊なものが必要であるため汎用性に乏しかった。

又、特開平6-62357号公報には、文字放送を利用してテレビの放送に関する各種の情報の提供や、ビデオ録画予約サービスを行うようにした技術が開示されている。

【0007】

しかしながらこの方式では文字放送受信機能を持った受信機が必要であり、特にビデオ録画予約を行うためには文字放送の情報に基づいて予約手続きを行うデータ処理機能を持った受信機が必要であり、かつこの方式では情報は放送局から受信者への一方方向の流れだけであり実用的ではなかった。

【0008】

【課題を解決するための手段】

本発明は現在その普及が急速に進んでいるインターネット等の汎用のネットワークに放送番組関連情報の提供などのサービスを行うためのサーバーを接続し、このサーバーとネットワークの通信端末を接続することにより、サーバーから通信端末への放送番組関連情報の提供やビデオの番組録画予約などのサービスを提供が出来るようにして上記の問題点の解決を図ったものである。

【0009】

【発明の実施の形態】

【実施例】

図1は本発明のネットワークサービスシステムの一実施例の構成を示す説明図である。図1において、INTはインターネット等の汎用の通信ネットワークである。BSVは放送番組関連情報の提供などのサービスを行うサーバーで、ネットワークINTに接続されている。INFはサーバーBSVが保持している放送番組の案内や放送番組に関連した情報である。

【0010】

T A 1はネットワーク I N Tに接続された第一の通信端末である。第一の通信端末 T A 1は一般の通信端末でネットワーク I N Tに接続されたサーバーや他の通信端末との間で情報のやり取りが行えるものである。T A 2はネットワーク I N Tに接続された第二の通信端末である。第二の通信端末 T A 2はビデオ装置の接続機能をもっており、一般の通信端末と同様にネットワーク I N Tに接続されたサーバーや他の通信端末との間で情報のやり取りが行えるだけでなく、ネットワーク I N T を介して送られてくるビデオ信号を受信しこれをビデオテープレコーダに供給する機能をもっている。

【0011】

V T Rは第二の通信端末 T A 2に接続されたビデオテープレコーダである。ネットワーク I N Tには第一の通信端末 T A 1と同様の一般の通信端末やビデオ装置の接続機能をもった第二の通信端末 T A 2のような通信端末が多数接続されネットワークを構成しているが、本実施例においては二つの通信端末だけを示してある。

10

【0012】

このように構成された本発明のネットワークサービスシステムの動作を説明すると次の通りである。

例えばビデオの録画予約を行う場合には、ユーザーはまず通信端末 T A 1を使用してネットワーク I N Tを介してサーバー B S Vにアクセスしこれよりサーバー B S Vが保持している放送番組の案内や放送番組に関連した情報 I N Fを取得し、この情報の中から録画したい番組を選定する。番組の選定が終わるとユーザーは通信端末 T A 1よりサーバー B S Vにアクセスし番組録画予約の依頼を行う。

20

【0013】

この場合、通信端末がビデオ装置の接続機能を持たない端末 T A 1は他のビデオ装置の接続機能を持った端末 T A 2に接続されているビデオテープレコーダ V T Rに対して録画を行うように依頼を行う。

【0014】

サーバー B S Vは番組録画予約の依頼があると依頼された接続機能を持った端末 T A 2に対して録画予約コマンドを送り依頼された番組が録画出来るような設定を行う。これにより端末 T A 2に接続されているビデオテープレコーダ V T Rは予約番組の録画を自動的に行う。

【0015】

30

サーバー B S Vは放送に特別番組等が入り予約番組の時間が変更になった場合にはあらかじめ設定しておいた録画時間の変更を行うための設定を行うように構成されているので依頼した番組の放送時間が変更された場合にも間違いなく目的の放送の録画を行うことが出来る。又、番組録画予約の依頼はビデオ装置の接続されていない通信端末からも行うことが出来るので、自宅にビデオ装置の接続されている通信端末を持っている人は自宅以外の場所の任意の通信端末から番組録画予約の依頼を行うことも出来るので非常に便利である。

【0016】

尚、サーバー B S Vが保持している放送番組の案内や放送番組に関連した情報サービスの具体的なものは次のようなものがある。

40

放送番組の情報としては、WWWなどで行っている番組紹介、アンケート／結果などの情報の提供を行うこと。

放送番組関連紹介としては特定の番組で使われたグッズなどの情報紹介や購入仲介を行うこと。

そのほかに、チャンネル時間購入サービスとして見落とした番組に対して有料で再送依頼をうけることも出来る。この場合その価格は希望者数で割るなどとする。

【0017】

又、サーバー側ではネットワーク I N Tを介してサーバー B S Vにアクセスされる放送番組の案内や放送番組に関連した情報と番組録画予約依頼のデータを集計することにより視聴率情報、アンケート情報などが得られるので放送番組の評価情報として使用すること

50

が出来る。

【0018】

図2は本発明のネットワークサービスシステムの他の実施例の構成を示す説明図である。図2において、INTはインターネット等の汎用の通信ネットワークである。BSVは放送局に置かれたサーバーで、ネットワークINTに接続されており、放送番組関連情報の提供などのサービスを行う。INFはサーバーBSVが保持している放送番組の案内や放送番組に関連した情報である。TA1はネットワークINTに接続された通信端末である。

【0019】

通信端末TA1は一般の通信端末でネットワークINTに接続されたサーバーや他の通信端末との間で情報のやり取りが行えるものである。TABはテレビ放送と文字放送の番組受信機能を持った受信端末である。受信端末TABはビデオ装置の接続機能をもっており、通常の放送チャンネルで送られているビデオ信号を受信しこれをビデオテープレコーダに供給する機能をもっている。VTRは受信端末TABに接続されたビデオテープレコーダである。

10

【0020】

ネットワークINTには通信端末TA1と同様の一般の通信端末が多数接続されネットワークを構成しているが、本実施例においては一つの通信端末だけを示してある。

このように構成された本発明のネットワークサービスシステムの動作を説明すると次の通りである。

20

放送局ではテレビ放送の文字放送チャンネルにサーバーBSV保持している放送番組の案内や放送番組に関連した情報を流している。

【0021】

例えばビデオの録画予約を行う場合には、ユーザーはまず受信端末TA1を使用して文字放送のチャンネルからサーバーBSV保持している放送番組の案内や放送番組に関連した情報INFを取得し、この情報の中から録画したい番組を選定する。番組の選定が終わるとユーザーは通信端末TA1よりサーバーBSVにアクセスし番組録画予約の依頼を行う。この場合、通信端末がビデオ装置の接続機能を持たないので文字放送によりビデオ装置の接続機能を持った受信端末TABに接続されているビデオテープレコーダVTRに対して録画を行うように設定を行うことを依頼する。

30

【0022】

サーバーBSVはこのような番組録画予約の依頼があると依頼された文字放送の受信機能を持った受信端末TABに対して個人録画予約情報を送り依頼された番組が録画出来るような設定を行う。これにより端末TABに接続されているビデオテープレコーダVTRは予約番組の録画を自動的に行う。サーバーBSVは放送に特別番組等が入り予約番組の時間が変更になった場合にはあらかじめ設定しておいた録画時間の変更を行うための時間シフト情報を文字放送により受信端末TABに送る。

【0023】

受信端末TABは文字放送により時間シフト情報が送られてくるとこれに対応した録画時間の変更を行うように構成されているので依頼した番組の放送時間が変更された場合にも間違いなく目的の放送の録画を行うことが出来る。

40

このように番組録画予約の依頼はビデオ装置の接続されていない一般の通信端末から行うことが出来るので、自宅に文字放送の受信機能を持った受信端末を置きこれにビデオ装置を接続して置くことにより、自宅以外の場所の任意の通信端末からも番組録画予約の依頼を行うことも出来るので非常に便利である。

【0024】

上記の各実施例においてはテレビ放送の録画を行うビデオ予約サービスの事例について説明したが本発明はテレビ放送に関するサービスに限定されるものではなく、ビデオテープレコーダのかわりにラジカセ等のラジオ放送受信装置を制御するようにすることによりラジオ放送の予約サービス等を行うことが出来る。

50

【0025】

【発明の効果】

以上の説明より明らかなように、本発明のネットワークサービスシステムは放送に関する各種のサービスの提供を行うサーバーをインターネット等の汎用のネットワークに接続し、ネットワークに接続された各種の端末との情報の交換が出来るようにしたために従来には行われていなかった下記のような各種の放送に関するサービスを実現することが可能になった。

【0026】

1. 放送番組の情報はサーバーから得られる。
2. ユーザーは直接ビデオテープレコーダに録画の設定を行う必要が無い。
3. 予約していた放送番組が変更になった場合にはサーバーにより時間シフトの対応が行われる。

10

【0027】

4. ネットワークの通信フォーマットを電子メールフォーマットとすることによって、録画予約はサーバーに電子メールを送ることで他の端末からも予約を行うことが容易になる。

5. サーバー側は端末との情報交換のデータを分析して視聴率情報、アンケート情報等の放送に対する評価データが得られる。
- という従来に無いすぐれた効果を実現出来る。

【図面の簡単な説明】

20

【図1】 図1は本発明のネットワークサービスシステムの一実施例の構成を示す説明図である。

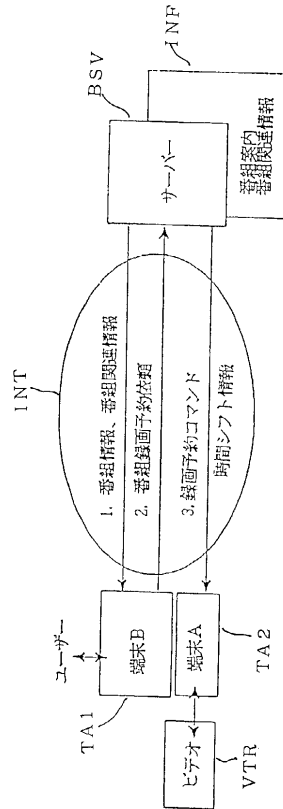
【図2】 図2は本発明のネットワークサービスシステムの他の実施例の構成を示す説明図である。

【符号の説明】

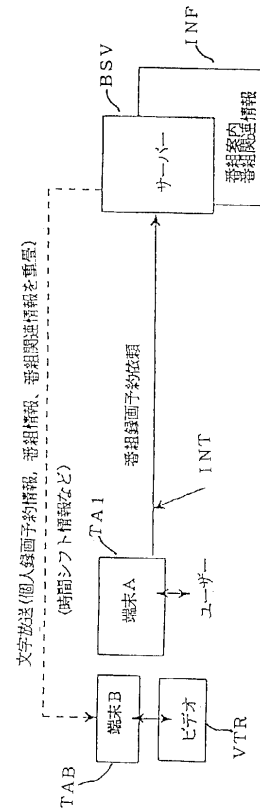
I N T・・・汎用の通信ネットワーク， B S V・・・放送番組関連情報の提供などのサービスを行うサーバー， I N F・・・放送番組の案内や放送番組に関連した情報， T M 1・・・一般の通信端末， T M 2・・・ビデオ装置の接続機能をもった通信端末， V T R・・・ビデオテープレコーダ， T M B・・・テレビ放送と文字放送の番組受信機能を持った受信端末

30

【図 1】



【図 2】



フロントページの続き

(72)発明者 内田 真史
東京都品川区北品川6丁目7番35号ソニー株式会社内

合議体

審判長 乾 雅浩

審判官 小池 正彦

審判官 佐藤 直樹

(56)参考文献 特開平7-225986 (JP, A)
特開平6-124502 (JP, A)
特開平8-19063 (JP, A)
特開平7-154349 (JP, A)
特開平7-193645 (JP, A)
特開平8-186548 (JP, A)